

【一次案内】

平成30年度

第33回 福島県特別支援教育センター研究発表会

1 趣旨

特別支援教育をめぐる最新の動向や学校等の状況を広く関係者に周知し、共有することで、インクルーシブ教育システムの構築・推進と共生社会の形成に資する。

記

2 日時

平成30年12月7日（金） 9時45分～15時45分

3 場所

福島県ハイテクプラザ 多目的ホール（郡山市待池台1丁目12番地）

4 主催

福島県特別支援教育センター

5 主題及び内容

主題「共に学び共に生きる社会の形成に向けて」

～学びの連続性や切れ目のない支援体制の充実～

(1) 研究発表

研究発表① 教育研究

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実」（一年次）

発表者：福島県特別支援教育センター 指導主事

研究発表② 調査研究

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査研究」（一年次）

発表者：福島県特別支援教育センター 指導主事

(2) 長期研究員 発表Ⅰ

①「通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童がみんなと共に学ぶための授業づくり」（二年次）

発表者：長期研究員

②「中学校の知的障がい特別支援学級に在籍する生徒が、自己の進路を主体的に選択、決定していくことができるような進路指導の充実」（二年次）

発表者：長期研究員

(3) 長期研究員等 発表Ⅱ

①「中学校に在籍する特別な支援や配慮を必要とする生徒が、自己実現を図るための進路指導の在り方」（一年次）

発表者：長期研究員

②「教師がつながりながら学び合う、校内の特別支援教育の充実」（一年次）

発表者：長期研究員

③福島大学教職大学院 教育実践高度化コース

「生徒自身が自己理解を深め、将来の夢や目標に向かい主体的に取り組む力を育てることのできる授業実践の検討」（二年次）

発表者：福島大学教職大学院院生

(4) 教育講演会

演題 「学習指導要領の改訂から見るこれからの特別支援教育」
～アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業づくり～

講師 明星大学教育学部教育学科

常勤教授 明官 茂 氏

6 日程

9:15	9:45	10:00	10:50	11:10	11:50	12:20	12:30	12:55	13:30	15:30	15:45
受付	開会式	研究発表① 教育研究	休憩	研究発表② 調査研究	長期研究員 発表 I			長期研究員等 発表 II	教育講演会	閉会式	
							昼食・休憩				
							パネル展示				

7 参加申込

参加申込等は、10月中旬にアップ予定の福島県特別支援教育センターWeb サイト、または、二次案内をご覧ください。

〈問い合わせ先：福島県特別支援教育センター 電話 024-952-6497〉

昨年度の研究発表会より

平成29年度の研究発表会では、222名の方々にお越しいただき国立障害者リハビリテーションセンター病院長、発達障害情報・支援センター長（併任）の講演や教育研究及び調査研究の発表と長期研究員のポスター発表を実施することができました。



研究発表



ポスター発表

◎参加者の感想から

- ・教職員、人材育成についての学び方などの取り組みがわかりました。
- ・チーム、組織として同じ方向に向かうための参考になりました。
- ・風通しのよい職場環境にするため、多くの同僚の話（意見）を多く引き出す仕掛けが大切だと感じました。
- ・学び合いの大切さ、組織力の大切さ、自分はどうすればよいか、改めて考えました。
- ・入院児童生徒の支援、心と学習のサポートについて特別支援教育センターと連携できるという視点が増えました。
- ・切れ目なく、病気になったからこそ、なったから、より質の高い学習をさせたいと思いました。
- ・学習の保障、継続について、制度や取り組みを含めて、とても参考になりました。
- ・医療からみた切り口で、特別支援教育ができること、やるべきことが見えてきました。
- ・いろいろな情報や診断、可能性を考えて現状を見ていくということが大切だと思いました。